

# DESIGN (褥瘡経過評価用)

カルテ番号( )

患者氏名( )

月日 / / / / /

<b>Depth</b> 深さ(創内の一番深い部分で評価し、改善に伴い創底が浅くなった場合、これと相応の深さとして評価する)									
d	0	皮膚損傷・発赤なし	D	3	皮下組織までの損傷				
	1	持続する発赤		4	皮下組織を越える損傷				
	2	真皮までの損傷		5	関節腔、体腔に至る損傷または、深さ判定が不能の場合				
<b>Exudate</b> 浸出液									
e	0	なし	E	3	多量:1日2回以上のドレッシング交換を要する				
	1	少量:毎日のドレッシング交換を要しない							
	2	中等量:1日1回のドレッシング交換を要する							
<b>Size</b> 大きさ 皮膚損傷範囲を測定:[長径(cm) × 長径と直交する最大径(cm)]									
s	0	皮膚損傷なし	S	6	100以上				
	1	4未満							
	2	4以上 16未満							
	3	16以上 36未満							
	4	36以上 64未満							
	5	64以上 100未満							
<b>Inflammation / Infection</b> 炎症/感染									
i	0	局所の感染徴候なし	I	2	局所の明らかな感染徴候あり(炎症徴候、膿、悪臭など)				
	1	局所の炎症徴候あり(創周囲の発赤、腫脹、熱感、疼痛)		3	全身的影響あり(発熱など)				
<b>Granulation</b> 肉芽組織									
g	0	治癒あるいは創が浅いため肉芽形成の評価ができない	G	3	良性肉芽が、創面の10%以上50%未満を占める				
	1	良性肉芽が、創面の90%以上を占める		4	良性肉芽が、創面の10%未満を占める				
	2	良性肉芽が、創面の50%以上90%未満を占める		5	良性肉芽が、全く形成されていない				
<b>Necrotic tissue</b> 壊死組織 混在している場合は全体的に多い病態をもって評価する									
n	0	壊死組織なし	N	1	柔らかい壊死組織あり				
				2	硬く厚い密着した壊死組織あり				
<b>Pocket</b> ポケット 毎回同じ体位で、ポケット全周(潰瘍面を含め)[長径(cm) × 長径と直交する最大径(cm)]から潰瘍の大きさを差し引いたもの									
なし		記載せず	-P	1	4未満				
				2	4以上 16未満				
				3	16以上 36未満				
				4	36以上				
部位(仙骨部、坐骨部、大転子部、踵部、その他 )					合計				